

## 1. 単元構想

### (1) 子どもの思いと教師の願い

今年度の総合的な学習の時間で、どのような学習をしていきたいかを話し合ったところ、「みんなでチャレンジできる活動がしたい」「まちの人に話を聞いて、たくさんの人たちと関わる活動がしたい」「学習したことをみんなに伝えたい」「全校のみんなを楽しませたい」「地域のためになる活動をして笑顔にしたい」などという考えが挙がった。そして、「自分たちの力でオリジナルのものを作る」ということにも強い思いがあることも分かり、その思いが叶えられる活動内容を検討していった結果、多くの人に昔から親しまれている「かるた」を、自分たちが住むまちを題材にして作成する活動を行うことになった。

本学級の子どもたちは、様々なことに素直な反応を見せ、興味があることに熱心に取り組む姿が多く見られる。社会科でのまちの様子を調べる学習では、自分が見つけたことや知っていることを伝えることに意欲的だった。一方で、自分の思いや考えをもっている、伝えることに自信がない子が多いという面もある。また、友達の言動を肯定的にとらえること、相手の思いを想像したり、受け止めたりすること、難しそうなことにも粘り強く取り組むことなどに課題があると感じている。本単元の学習を通して、一人ひとりが自分の思いや考えを明確にもち、進んで伝えること、様々な視点で物事について考え、粘り強く課題解決に向かうこと、人の思いを深く想像し、受け止めようとする、一人ひとりが人との関わりを大事にし、進んで関わり合いながら学んでいくことを大切に、子どもたちの一人ひとりの良さが生き、さらに伸ばしていける学習にしていきたい。

### (2) 学習材について

本単元では、西が岡のまちのオリジナルかるたを作成することを通して、まちの魅力を発信する活動を設定する。西が岡のまちには、地域密着の商店、人と人とのつながりを大切にする絵手紙教室、地域の人々のよりよい暮らしをつくるための様々な施設、住宅地でありながら緑に囲まれているきれいな街並、そしてそこに関わるたくさんの人々など、魅力的な「ひと・もの・こと」に溢れている。作成するかるたに取り上げる題材を選ぶ活動を通して、様々な思いにふれ、これまで気付かなかったまちのよさを発見したり、見直したりすることができ、より詳しく分かることでまちへの愛着を深めることができると考える。

かるたは、短い言葉や絵で伝えたいことを表現するため、伝えたいまちの魅力やそれを表す言葉についてよく考え、吟味する必要があり、絵札や読み札に取り上げる題材選びや表現の工夫に、一人ひとりのよさやこだわりを生かすことができるものであると考えている。より魅力が伝わるかるたを目指して思いを伝え合う中で、互いのよさを認め合いながら意欲的に取り組む活動にしていくことができるようにしていきたい。

日本では古くから様々なかるたが作られており、幼児からお年寄りまで、世代を問わず、大勢の人と楽しむことができるものである。西が岡のまちのことを「知ってほしい」「好きになってほしい」そんな自分たちの思いがこもったかるたで一緒に遊ぶことで、まちの人々との関わりを深められたことや楽しんでもらったことへの喜びを感じ、意欲的に活動することができるようにしていきたい。

### (3) 探究課題

まちのかるたを作ったり、それで遊んだりする活動を通して実感するまちのよさや人々の思い

(4) 単元で育てたい資質・能力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かるたは、簡単なルールで大人も子どもも関係なく楽しむことができ、絵札や読み札にかかれてあることについて知ったり、想像を広げたりする楽しさがあることが分かる。</li> <li>・まちには様々な施設があり、そこにかかわる人々も多様で魅力があることに気付く。</li> <li>・地域活性化のために尽力する人々の思いや願い、努力していることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かるたでまちのよさを伝えるための課題を的確に捉え、解決の方法や手順を考える。</li> <li>・まちについて取材した内容から伝えたいことを取捨選択し、観点を決めて分類するなどすることができる。</li> <li>・まちのよさがより伝わるように、表現を工夫してかるたに表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・願いの実現に向け、粘り強く活動し、最後まで取り組もうとする。</li> <li>・かるた作りを通して多くの人とふれあうよさに気付き、これからもっとまちやまちの人々と進んでかかわっていかうとする。</li> <li>・人のため、地域のためになることを活動することに喜びを感じ、自分のできることを進んで行おうとする。</li> <li>・地域のために力を尽くしている方に心を寄せ、その思いを理解、共感することができる。</li> </ul>

(5) 単元目標

- 自分たちが魅力を感じる、地域の「ひと・もの・こと」を題材にしたかるたを作成する活動を通して、まちには様々な施設があり、そこにかかわる人々も多様で魅力があることに気付いたり、地域活性化のために尽力する人々の思いや願い、努力していることを実感したりして、地域の人々と進んで関わり、つながりを大切にしていこうとすることができる。
- 様々な人との関わりを通して、相手の思いを深く考えたり、自分の見方や考え方と比べたりしながら、多面的に物事をとらえ、人との関わりを大切にしながら進んで課題解決に向かうことができる。

(6) めざす子どもの姿に迫るための手立て

**研究主題**

『「ひと・もの・こと」と夢中でかかわり、対話的に学び、自分の見方・考え方を深め、  
思いや願いを実現する子』

**中学年でめざす姿**

「人やもの、ことに夢中になって、じっくりとかかわって問いを見出し、深まった思いや願いを自分の考えとして表現したり、他者の考えを理解しようと聞いたりして、自分の見方・考え方を深めたり広げたりし、次への学びにつなげたり、他教科の学習や実生活に生かして考えたりしようとする姿」

①「ひと・もの・こと」に夢中でかかわる

○子どもたちの実態に則した、魅力ある材との出会い

意欲をもって繰り返し取り組むことができるよう、様々な郷土かるたで遊んだり、自分たちが作ったかるたで学校や地域の人々に遊んでもらったりする機会を多くつくり、かるたで遊ぶことの楽しさ、かるたで地域の魅力を発信することのよさや喜びを実感できるようにする。

○自分の考えの根拠を明確にできるよう、相手意識や目的意識を共有する。

かるた作りを何のために行うのか、自分たちがどんなかるたを目指していくのか、誰に楽しんでほしいかなどを明確にもつことで、より地域のよさが伝わるかるたにするための考えをもつ根拠にできるようにする。

## ②対話的に学ぶ

○自分のかるたをじっくり見る、比較する、伝えたいことを明確にもち、それが表れているかを振り返る。

かるたに取り上げたい題材について、自分が何を表現したいのかを明確にしてかるた作りに取り組んだり、作ったかるたと様々な郷土かるたと比較したりすることを通して、よりよいものにしていくための課題や活動の見通しを、子どもたち自身がつくっていけるようにしていきたい。

○自分と他者の思いや考えを比較することができるよう、考え、話し合う視点を明確にする。

対話する場面において、自分の思いや考えと比較して聞くことで、新たな気づきがあり、ともに学習する楽しさを感じられるようにしていきたい。そのために、何について話をしているかや自分の考えとどこがつながるかを一緒に確認したり、板書等で視覚的にとらえられるようにしたりということを、積み重ねていくようにする。また、発言する側としては、なぜそう思ったかという根拠を明確にして話せるようにしていきたい。結論が同じか違うかではなく、根拠が自分と比べてどうか分かることで活発な対話が生まれるように工夫していく。

○友達と進んで関わって学習に取り組めるよう、友達が作ったかるたから想像することを大切にす。

自分が作ったかるたはもちろん、友達がどんな思いをもって作ったか、どんなことを伝えたいのかを、一枚一枚の絵札や読み札をじっくり見ることで思いをつながっていけるようにする。言葉だけの表面上のつながりだけでなく、かるたという物を通して、意識が相手に向かうことを大切に組み込んでいきたい。

## ③自分の見方・考え方を深める

○立ち止まり、思考を深める場面を設定する。

体験場面や話し合いの場面で、「共有したいこと」「大事にしたいこと」などの視点で立ち止まり、焦点化をはかり、思考を深めることを大切にしたい。そこで、視点を絞る発問や板書による思考の整理などの手立てを意識的に取り入れたい。

○自分の思いや考えがどうなったかを振り返る。

友達との対話によって、自己との対話が進み、問いや気付き、深まった考えが生み出されると考える。そこで、「振り返り」の時間を大切にしたい。学んだことやしたことを整理するためだけでなく、「自分の考えがどう変わったのか、深まったのか」という自己の変容や成長を自覚化できる時間を大切にしたい。

## (7) 学習活動の流れ

### I 3-1の「総合的な学習の時間」をスタートしよう 総合4

○総合的な学習の時間で目指すものについて知る。

○3年生での総合的な学習の時間を、どのようにしていきたいか意見を交流する。

○「かるた」を材にどんな学習をしたいか、どんな活動ができそうか学習の見通しをもつ。

### II 西が岡かるたを作ろう 総合25 社会8 国語2【本単元】

○いろいろなかるたで遊んでみる。

○かるたの歴史、特徴、作り方を調べる。かるたの魅力を実感する。

○どんなかるたにしたいかやそれを作るための方法を考える。

○西が岡かるたを作ってみる。

○作った西が岡かるたが、まちのよさを伝えることができ、楽しめるものになっているか考える。

○かるたに表したい「ひと・もの・こと」について調べる。【1】

○かるたに表したい「ひと・もの・こと」のよさは何か話し合う。【2】

- ・もっといろいろなところのことが書いてあるかるたにしたいね。
- ・まち探検で見つけたところについてもっと調べたいな。
- ・八百屋さんでは何が売っているのかな。もっとよく知ってから作りたいな。
- ・取材して詳しく調べよう。

○かるたに表したい「ひと・もの・こと」について調べる。【1】

①泉の森ふれあい樹林 ②つねさん青果 ③岡津地域ケアプラザ 以降は子どもたちの思いによって決定

○かるたに表したい「ひと・もの・こと」の魅力は何か話し合う。【2】

- ・遊歩道にきれいな花が咲いていることをかるたにしよう。
- ・西が岡3丁目公園のすべり台のことを紹介したいな。
- ・2年生のときに調べたケアプラザの素敵なおところを書きたい。
- ・八百屋さんにはおいしそうな野菜がたくさんあったよ。
- ・インタビューした人はとても優しかったな。

○西が岡かるたを作る。【3】

○自分が一番魅力に感じることをかるたに書き表す。

- ・みんなで話し合った〇〇の魅力をかるたにかいてみよう。
- ・私は〇〇の一番好きなところは□□だな。

※対象ごとに【1】～【3】を繰り返す。

3. 本時

6/20 5時間目 3年1組 本時修正案

(1) 本時目標

自分たちが作った西が岡かるたを紹介し、内容やかるた全体について気付いたことや考えたことを伝え合い、さらに地域のよさが伝わり、みんなが楽しめるかるたにするためにはどうしたらよいかを考える活動を通して、かるたに取り上げる題材を広げたり、より詳しく知ったりすることの必要性に気づき、これからの活動への見通しをもつことができる。

(2) 本時展開

○学習活動・予想される反応	○支援の具体 ★評価
<p>○前時までの学習を振り返り、活動の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%; text-align: center;"> <p>かるたにかいた「すてき！」を紹介し合おう。</p> </div> <p>○作った西が岡かるたに表した、自分が感じたまちのよさを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西が岡のまちは、自然がいっぱい素敵などころを書きたくてかいたよ。</li> <li>・ふれあい樹林には男の子が好きな虫も、女の子が好きな虫もいるのが素敵だと思った。</li> <li>・6月の花と言えばあじさいで、自然の虫や植物がいっぱいいいなと思ってかいたよ。</li> <li>・自然がいっぱいあって素敵ってことを知ってほしくて、いっぱいあるからだけじゃなくて、その中でみんなが好きになれそうなものがあるからそれをかいた。</li> <li>・ふれあい樹林のあじさいが綺麗で、綺麗も素敵に入ると思う。</li> <li>・セブンイレブンに行ったときに、おいしそうな食べ物とか飲み物がたくさんあったからそれを伝えたい。</li> <li>・自分たちがまち探検に行っても楽しかったから、こんなことするんだよって教えたい。</li> <li>・西が岡小学校では楽しい学習がいっぱいあるからそれが素敵。</li> <li>・遊んだときにも思ったけど、やっぱりふれあい樹林のことばかりになっているよ。</li> <li>・まちの「すてき！」が自然のことだけみたいに思えちゃうな。</li> </ul>	<p>○気付いたことや考えたことを具体的に伝えられるように、作ったかるたの実物を示しながら話せるようにする。</p> <p>○どこの何についてかるたにかいたかや内容の偏りに目を向けられるよう、かるたを拡大した地図上に貼っていく。</p>
<p>もっとまちの「すてき！」が伝わるかるたにするには何がかけるとよいのだろう。</p>	
<p>○作った読み札の内容を見直し、さらに「すてき！」が伝わるかるたにするにはどうしたらよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジモトかるたは、神奈川県全体のことがかいてあるから、もっといろいろなところのことをかるたにしたいな。</li> <li>・ふれあい樹林なら、あじさいのことだけじゃなくて、涼しくて気持ちいいことも紹介したい。</li> <li>・名前が分からない木や花があったから調べたいな。</li> <li>・つねさんに行ったら、どんな野菜が売っているのかくわしく調べてみたい。</li> </ul>	<p>○かるたに表したいことについて視点を増やすことができるよう、作ったかるたをもとにさらに詳しくしたいことを考える。</p> <p>○地域の場所やものそれぞれについて詳しく知りたいことのイメージがもてるよう、分類して板書する。</p>

- ・何かおすすめとかあるか聞いてみたいね。
- ・ケアプラザではどんなことをやっているかインタビューしたい。
- ・楽しいとか面白いだけじゃなくて、いろんな言葉でかるたに書けるといいね。
- ・はじめから46音どれでも書けるようにしたいな。

★より地域のよさが伝わるかるたにするために、自分がかるたに書き表したいことについて詳しく知る必要があることに気づき、これから調べたいことについて考えをもつことができている。

○今日の活動を振り返る

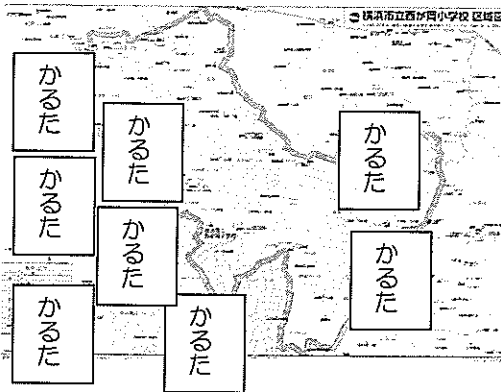
### (3) 板書計画

かるたにかいた「すてき！」をしょうかいし合おう。

もっとまちの「すてき！」が伝わるかるたにするには何がかけるとよいのだろう。

ふれあい樹林

- ・自然いっぱい
- ・虫
- ・植物
- ・あじさい
- ・



セブンイレブ

- ン
- ・食べ物
- 西が岡小学校
- ・学習
- ・自然

- ケアプラザ
- ・やさしい
- ・イベント

- つねさん
- ・野菜の種類
- ・おすすめ
- ・インタビューしたこと

- ケアプラザ
- ・イベント
- ・利用している人の気持ち

- ふれあい樹林
- ・感じる気持ち
- ・花や木の種類

- 西が岡小学校
- ・思い出
- ・先生
- ・楽しいこと

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立西が岡小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
		<p>○いろいろなかるたで遊んでみる。</p> <p>○かるたの歴史、特徴、作り方を調べる。かるたの魅力を実感する。</p> <p>○どんなかるたにしたいかやそれを作るための方法を考える。</p>	<p>かるた作りに対する具体的なイメージをもった。</p>	<p>自分たちの手で、かるたを作り、みんなに遊んでもらうことを目指す活動への意欲が高まった。</p>
		<p>○かるたに表したい「ひと・もの・こと」について調べる。【1】</p> <p>○かるたに表したい「ひと・もの・こと」のよさは何か話し合う。【2】</p> <p>○西が岡かるたを作る。【3】</p> <p>※対象ごとに【1】～【3】を繰り返す。</p> <p>○自分が一番魅力に感じることをかるたに書き表す。</p>	<p>かるたに取り上げたい場所に行き、写真を撮ったり、メモしたりしてかるたに書き表したいものを見つけた。</p> <p>かるたを作成し、実際に遊んでみることで、様々な魅力があることに気付いた。</p>	<p>学校の近くにあるふれあい樹林、スーパーマーケット、消防署、地域ケアプラザなど、かるたに取り上げた場所に対してより親しみをもつようになった。</p>

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>その場所に行って実際に見て感じる事、繰り返し行ったり、見つけたものについて話し合ったりすることでかるたに書き表したいことのイメージを具体的にもてるようにした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>3年生ということもあり、一つの絵札、読み札を作成するにも時間がかかってしまう。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>地域全体に関心を深め、内容についての情報収集や探検を通して身近なよさを発見することができ、生き生きと活動することができた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>子どもたちとともに地域の魅力を再発見し、学習の中で取り上げたいもの、子どもたちに考えさせたいこと、つけたい力などについて考えを広げることができた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み [児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等]</p> <p>地域全体(学区中心)のかるたを作成するために、広く、様々な景観を取り上げ、かるたに書き表していく。その場所に関わる人々との出会いの中で、より深くよさを感じられるように展開していきたい。</p>